

## 附

福井県に自生していることが確認されているもので未採集のしだ植物	
<i>Lycopodium inundatum</i> L.	やちすぎらん
<i>Ophioglossum vulgatum</i> L.	ひろははなやすり
<i>Osmunda lancea</i> Thunb.	
var. <i>latipinnula</i> Tagawa	おおばやしやせんまい
<i>Vandenboschia amabilis</i> (Nakai) K. Iwats.	ひめはいほらごけ
<i>Pteris cretica</i> L.	
var. <i>allo-lineata</i> Hook	まつざかしだ
<i>Coniogramme intermedia</i> Hieron.	
form <i>villosa</i> Kurata	うらげいわがね
<i>Polystichum pseudo-makinoi</i> Tagawa	さいこくいので
<i>Diplazium doederleinii</i> (Luerss.) Makino	いぬしろやました
<i>Antrophyum obovatum</i> Bak.	たきみしだ

## シダの新产地

武生市武生第一中学校 渡辺定路

- 1 *Osmunda lancea* Thunb. var. *latipinnula* Tagawa オオバヤシヤゼンマイ  
分布：東海道、近畿、四国  
形態的には、ゼンマイとヤシヤゼンマイの中間を示す。  
生育場所は、水ぎわの岩の上等に生えている。  
小生は 1960年9月6日に南条郡河野村赤萩の谷川で採集、これで本県にもヤシヤゼンマイが生育しているのではないでしようか。（石川県、能登半島で発見されている）
- 2 *Dryopteris shikokiana* (Makino) C. Chr. ホウノカワシダ  
分布：伊豆、福井県以西の本州、四国、九州に稀に産する。  
形態：シラガシダに似ているが、鱗片は褐色、最下羽片は長いので、シラガシダとは容易に区別できる。  
小生は 1960年10月3日に若狭の名田庄村一つ谷国有林で採集、1株確認
- 3 *Dryopteris pynopteroides* (Christ) C. Chr. ワカナシダ  
分布：本州（上野、武藏、伊豆、駿河、周防、越前）四国（土佐）九州（肥後、薩摩、大隅）

形態：イワヘゴに似ているが、羽片羽状中裂し、ソーラスは裂片の中助の両側につく、鱗片は黒旨～褐色

小生は 1959年11月12日 武生市、三俣町の山中で採集 9株自主

- 4 *Polystichum tsus-simense* (Hook.) T. Smith  
var. *mayebarai* (Tag.) Kurata オオキヨズミシダ

分布：東海道以西の各地、裏日本（新潟、富山、福井、石川）

形態：ヒメカナワラビに比して葉は一般に大きく、中軸の鱗片は幅が広い

小生は 南条郡河野村赤萩で1960年9月6日に採集

- 5 *Polystichum × Okanum* Kurata ナメライノデ

分布：本州（上総、相模、伊豆、遠江、三河、伊賀、大和、播磨、周防）九州（肥後）

イノデモドキ × ツヤナシイノデ又はサカゲイノデ の雑種

小生は 1960年10月3日 若狭、名田庄村 一つ谷国有林で採集、これはイノデモドキ  
キ × サカゲイノデの type である。

- 6 *Polystichum × takaosanense* Kurata タカオイノデ1型

分布：本州（羽前、佐渡、加賀、越前、下総、武州、駿河、近江）

アイヌカイノデ × ツヤナシイノデ or サカゲイノデ

本県のものはアイヌカイノデ × サカゲイノデの type

武生市の大虫、吉野地区から越前町の方面に多い

- 7 *Polystichum Inadae* Kurata フナコシイノデ

分布：（播磨、越前、越中、信濃）

形態：イノデに似ているが、鱗片がツヤナシイノデのように幅が広い

小生は 1959年8月に大虫の滝で採集し、1960年3月20日に武生市三俣町  
7月1～3日に越中、信濃で採集

- 8 *Athyrium unifurcatum* (Bak.) C. Chr. オオヒメワラビモドキ

分布：関東以西の本州、四国、九州に稍々稀に産するシダ

形態：オオヒメワラビのように小羽片が羽状中裂しない。

小生は 1960年9月6日 南条郡河野村赤萩で採集

- 9 *Athyrium* sp. カラタニイヌワラビ

分布：九州（肥後） 越前（武生市、若須岳）

タニイヌワラビ × カラクサイヌワラビ と考えられる。

形態：両者の中間的形態を示す。 大きさは両者より一段大きい。

- 10 *Diplayium doederleinii* (Luerss.) Makino シマシロヤマシダ

分布：三重県、山口県、高知県に極めて稀に産するシダ

形態：シロヤマシダに似るも、葉はややまばらにつく、ソーラスは中助に接してつき、色膜  
は不規則に破れてくずれる。

(研)

小生は 1960年10月3日に若狭、名田庄村一つ谷国有林で採集

- 11 *Lastrea japonica* (Bak.) Copel.

var. *musashiensis* Hiyama イワハリガネワラビ

分布：ハリガネワラビと同じ

形態：ハリガネワラビは茎は褐色で羽片にも毛が多いがイワハリガネワラビは茎の下部以外は淡緑色、羽片の毛も少ない。

- 12 *Coniogramme intermedia* Hieron.

form. *villosa* (Ching) Kurata ウラゲイワガネ

形態：イワガネゼンマイの葉の裏に毛のあるtype。

- 13 *Ophioglossum thermale* Komarov

var. *nipponicum* (Migale. et Kudo) Nishida コハナヤスリ

分布：本州、四国、九州

永平寺、日野神社（武生市、中平吹）のは、フジハナヤスリ（コヒロハハナヤスリ）である。

コハナヤスリとフジハナヤスリとの相違点は、前者は栄養葉の基部はしだいに狭くなつて葉柄に移行するが、フジハナヤスリは、栄養葉の基部は急に狭くなり葉柄とはつきり区別される

1960年7月23日 日野山頂上で採集（八田氏と）

- 14 *Diplayiopsis cavaleriana* (Christ) C. Chr. イワヤシダ

若狭、名田庄村一つ谷国有林にまだ生育していることを1960年10月3日に確認

- 15 *Struthiopteris amabilis* (Makino) Ching オサシダ

若狭、名田庄村一つ谷国有林にも産する。

- 16 *Crepidomanes makinci* (C. Chr.) Copel.

var. *tosae* (Christ) K. Iwata アオホラゴケ

*Monachosorum flagellare* (Maxim.) Hayata オオフジシダ

武生市、坂口、矢良巣岳に産します。

最後に標本の同定、その他種々御指導頂きました。東大倉田、福井市立郷土博物館の堀先生に厚く感謝致します。

文 献 原色日本植物図鑑 田 川 基 二 (1959)

日本のイノデ類、イワヘゴ類、イヌワラビ類 倉 田 悟 (1960)

福井博物同好会会報(2~7号)

伊 豆 の シ ダ

倉 田 悟 (1960)

日本シダの会会報(No. 37~49)